

# 令和 5年度予算見積調書

課室名：障害者福祉推進課  
 担当名：障害福祉、企画・団体担当  
 内線：3315 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
S140	障害児等社会適応支援事業費			一般会計	民生費	社会福祉費	障害者福祉費	障害者援護対策費	
事業期間	昭和46年度～	根拠法令	障害者基本法第17条、第18条、第23条（任意）			針路分野施策	07 誰もが活躍し共に生きる社会の実現 0703 障害者の自立・生活支援	SDGsゴール 3 SDGsターゲット	
1 事業概要 障害児（者）の社会適応能力の向上と社会参加の促進のため、障害児（者）及びその家族等に対し各種相談に応じるとともに、訓練、交流、啓発事業を行う。  ア 難聴児対策事業 214千円 イ 在宅重度心身障害児（者）療育援護事業 612千円 ウ 難病患者等訓練事業 174千円				5 事業説明 （1）事業内容 ア 難聴児対策事業 214千円 「耳の日」記念のつどい 耳の日（3月3日）を記念し聴覚障害及び聴覚障害者に対する理解を深めるため、耳に関する講演会を開催する。 イ 在宅重度心身障害児（者）療育援護事業 612千円 日頃外出の機会に恵まれない在宅の重度心身障害児（者）の集団野外訓練及び相互交流を図るため、療育キャンプを実施する団体に対して補助する。 ウ 難病患者等訓練事業 174千円 難病患者及び障害者に対し、作業訓練を実施する団体に対して補助する。  （2）事業計画 ア 難聴児対策事業 「耳の日」記念のつどい 年1回、講演会を開催する。 イ 在宅重度心身障害児（者）療育援護事業 4団体に対して補助する。 ウ 難病患者等訓練事業 1団体に対して補助する。  （3）事業効果 ア 難聴児対策事業 「耳の日」記念のつどい 参加人数 平成28年度183人、平成29年度169人、平成30年度186人 イ 在宅重度心身障害児（者）療育援護事業 参加人数 令和元年度 4団体合計 163人 令和2年度 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止 令和3年度 4団体合計 104人 ウ 難病患者等訓練事業 訓練参加人数 令和元年度64人、令和2年度31人、令和3年度80人					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人＝1,900千円									

予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との対比
決定額	1,000						1,000	△84
前年額	1,084						1,084	

## 事業内訳書

事業名	障害児等社会適応支援事業費		
単位事業名	難聴児対策事業	予算額	214千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	214	△16	「耳の日」記念のつどい講演会講師謝金 2人分
合計	214	△16	

単位事業名	在宅重度心身障害児（者）療育援護事業	予算額	612千円
-------	--------------------	-----	-------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	612	△68	障害者団体への補助金
合計	612	△68	

単位事業名	難病患者等訓練事業	予算額	174千円
-------	-----------	-----	-------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	174	0	障害者団体への補助金
合計	174	0	